

農畜産振興事業団指定助成対象事業

中販連 だより

2003
vol.4

中国地域指定生乳生産者団体 中国生乳販売農業協同組合連合会 機関誌

発行●中国生乳販売農業協同組合連合会 編集・発行人●鍵山 信儀

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀8番23号林業ビル4階

TEL082-511-3371 FAX082-511-3399



CONTENTS

- 第3回通常総会特集●通常総会議案
- 平成14年度決算●新監事紹介
- 平成15年度事業計画●人事異動
- 事業経過報告●編集後記

Chugoku Fresh Milk Sales-Agricultural Cooperative Association

平成十五年年度 第二回 通常総会開催

七月二十五日 八丁堀シャンテ（広島市）

本会は、平成十五年七月二十五日に広島市の八丁堀シャンテにおいて第三回通常総会を開催しました。

主催者を代表して山崎会長は「指定団体の財務体質の強化」「生乳生産をどのようにに刺激し、伸ばしていくのか」「生乳を域外に四万ト移出しているが、それ以上に管内に域外より入ってきており、関係指定団体との連携をした需給調整を考えていかなければならない」等を趣旨とする挨拶が行われました。

続いて、来賓の農林水産省牛乳乳製品課の高橋仁志課長補佐、中央酪農会議の平野彰事務局長、広島県金丸農林水産部長から祝辞をいただき、その後、議長に山口県酪農農業協同組合の岡本組合長を選任し、議案の審議に入りました。

以下本紙におきましては、通常総会議案及び平成十四年度決算並びに十五年事業計画の概要について紹介致します。

ます。

議案

▼第一号議案

平成十四年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び付属明細書の承認について

▼第二号議案

平成十五年事業計画の承認について

▼第三号議案

平成十五年度賦課金及び徴収方法について：委託乳量1kg当たり十六銭を乳代精算時に徴収する。

▼第四号議案

平成十五年度役員報酬について：平成十五年度役員報酬の額を理事二百万円以内、監事五十万円以内とする。内訳については、理事会・監事会の協議に一任する。

▼第五号議案

退任役員慰労金について：退任する役員について、退任慰労金十一万一千円以内において贈呈するものとする。支払方法、支払時期については理事会に一任する。

▼第六号議案

役員補欠選任について

議案は第一号～第六号議案まで上程され、全ての議案が原案通り可決承認されました。席上、会員出席者より中国生乳販連の運営体制の強化及び管内酪農の活性化に牽引的役割を果たすべきとの要望を受けました。

新監事紹介

本会の内藤照章（岡山県酪連専務理事）監事が辞任され、この度の第二回通常総会において補欠選任が行われ、千葉靖代（岡山県酪連副会長）氏が選任されました。



千葉靖代氏
（岡山県酪連副会長）

平成14年度決算書

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 |
|-----------|----------------|
| 事業収益(売上高) | 33,883,820,918 |
| 事業費用(仕入高) | 33,828,193,017 |
| 事業総利益 | 55,627,901 |
| 人件費 | 51,133,385 |
| 業 務 費 | |
| 会議費 | 2,046,473 |
| 接待交際費 | 1,078,354 |
| 広告宣伝費 | 122,382 |
| 通信運搬費 | 1,155,057 |
| 支払手数料 | 733,600 |
| 消耗品費 | 568,336 |
| 印刷費 | 230,100 |
| 教育情報費 | 345,768 |
| 旅費交通費 | 6,244,670 |
| 事務委託費 | 1,020,267 |
| 販売雑費 | 0 |
| 計 | 13,545,007 |
| 諸税負担金 | 6,772,724 |
| 施設費 | 5,962,681 |
| 貸倒引当金繰入金 | 4,262,798 |
| 雑費 | 513,283 |
| 計 | 82,189,878 |
| 事業利益 | ▲ 26,561,977 |
| 事業外収益 | 544,735,475 |
| 事業外費用 | 517,363,134 |
| 経常利益 | 810,364 |
| 税引前当期利益 | 810,364 |
| 法人税その他の額 | 780,000 |
| 当期末処分剰余金 | 172,943 |

平成十五年度事業実施計画

一、基本方針

我が国経済は金融機関における不良債権処理が長期化の中でデフレスパイラルの深淵に直面する状況にある。

厳しい国内情勢の中で、東南アジアが発症源と目されるSARS（重症急性呼吸器症候群）の発生は経済の国際化が進行する今日において防疫体制の重要性が再認識されることとなり、セーフティネットの確立に向けた政策の拡充強化が不可避となっている。

酪農乳業界においては、衛生事故やBSEの突発等の苦難に晒されながらも、官民を上げた安全・安心確保への実践努力が消費者の評価を得て、堅調な生乳需要を維持している。

しかしながら、生乳供給部門においては、都府県の生産基盤の低下から飲用向け生乳需給の混乱が構造化しつつあり、加えて、今日においては脱脂粉乳の過剰対策が新たな課題となってい

る。

このため、平成十五年度においては逼迫と過剰と言いつ対極する需給構造の下で、生乳の需給調整と用途仕向けの円滑な運用が求められている。

このような情勢を踏まえ、当連合会としては平成十五年度の事業展開に当たり生乳需給調整及び乳代共同計算体作りを中心とする指定生乳生産者団体としての共同販売機能の強化を更に推進するため次の事業に取り組むものとする。

一、業部門別実施計画

(1) 総務部門

① 第2次中期事業計画の作成

当連合会の業務及び財務を含む組織運営に関し平成十六年度から十八年度の3ヶ年間の指針となる第2次事業計画を作成する。

② 債権保全対策の強化

生乳代金等債権の保全対策の強化及

び取引の安定を期するため、定期的に信用調査を実施するとともに取引先乳業者に対し抵当権及び保証金の差し入れ等を要請し保全対象数量の拡大を図る。

③ 特別会計及び預かり金の適正な管理・運用

特別会計において運用する加工原料乳経営安定化対策事業に係る生産者拠出金及び当連合会固有事業としてのBSE対策事業に係る会員からの預り金等について適正な管理・運用を行う。

④ 情報連絡機能の強化

当連合会の組織運営への理解促進の強化及び管内生産者の連帯感の醸成を図るため、必要な情報の迅速な伝達を行うとともに機関紙である中販連だよりを定期発行する。

(2) 業務部門

① 乳価交渉の強力な実施

平成十五年度の乳価対策は家畜排泄物管理法の本格実施を控えた中で、生乳生産基盤の動向と密接に関わることから、再生産可能な乳価実現のため値上げに向けた強力な交渉を実施する。

② 生乳計画生産目標数量の達成

平成十五年度の生乳生産目標数量は

345、245トン、前年度実績対比100・7%に設定し、会員一丸となった取組により達成を図る。

③ 共販機能の運用強化

需給調整対策については会員、全国連並びに関係指定生乳生産者団体との連携強化により円滑な運営を図るとともに、生乳需給事情を踏まえた有利かつ合理的な販売により手取り乳価水準の引き上げを図る。

また、需要期増産対策を新たな課題として位置付けた検討を行う。

④ 指定団体組織・機能の強化

指定団体機能整備検討委員会（当連合会会長諮問機関）が作成した答申である生乳需給調整及び乳代共同計算体制に関するとりまとめ内容について、具現化に向けて会員組織の理解促進を図る。

⑤ 補助事業の実施

当連合会が実施主体となる国庫及び指定助成事業について、会員組織の意向を踏まえ適正な運用を行う。

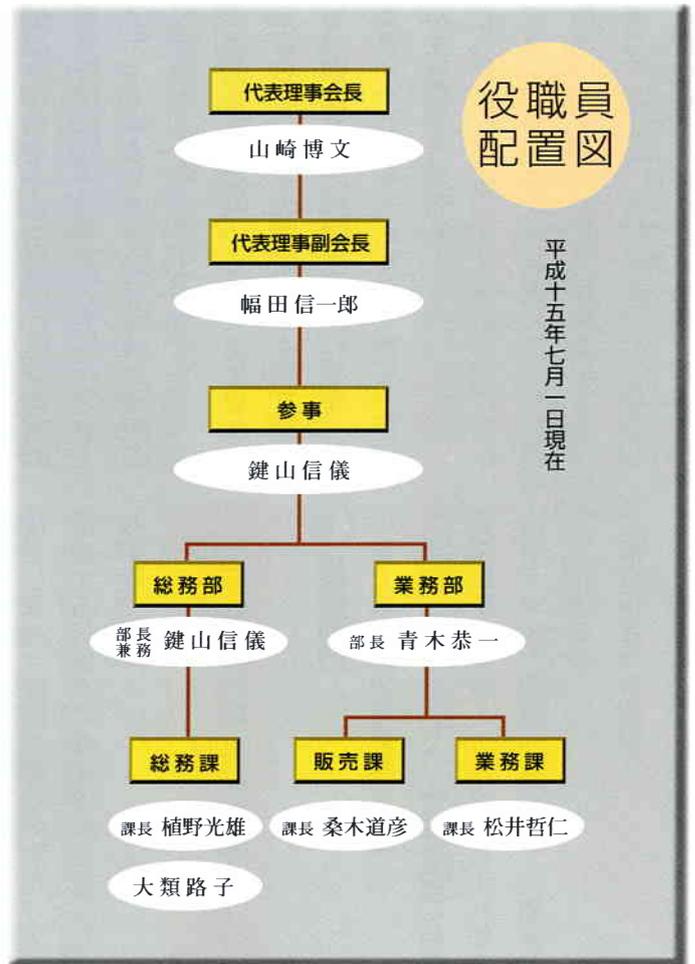


平成15年度事業計画

| 項目 | 金額 |
|----------|----------------|
| 生産販売量 | 345,245,000 |
| (再委託数量) | 4,800,000 |
| 生乳販売合計数量 | 350,045,000 |
| 生乳販売金額 | 34,121,000,000 |

| 科目 | 金額 | | |
|-----------|----------------|------------|-----------|
| 事業収益(売上高) | 34,121,000,000 | | |
| 事業費用(仕入高) | 34,064,994,000 | | |
| 事業総利益 | 56,006,000 | | |
| 事業管理費 | 人件費 | 52,093,000 | |
| | 旅費交通費 | 6,092,000 | |
| | 業務費 | 会議費 | 1,912,000 |
| | | 接待交際費 | 1,100,000 |
| | | 通信運搬費 | 1,116,000 |
| | | 消耗品費 | 600,000 |
| | | 印刷費 | 910,000 |
| | | 広告宣伝費 | 100,000 |
| | | 調査研究費 | 1,400,000 |
| | | 研修費 | 100,000 |
| | | 教育情報費 | 254,000 |
| | | 貸倒引当金繰入額 | 0 |
| | 支払手数料 | 732,000 | |
| | 計 | 8,224,000 | |
| | 諸税負担金 | 6,602,000 | |
| 施設費 | 5,036,000 | | |
| 減価償却費 | 996,000 | | |
| 雑費 | 840,000 | | |
| 計 | 79,883,000 | | |
| 事業利益 | -23,877,000 | | |
| 事業外収益 | 372,510,000 | | |
| 事業外費用 | 346,012,000 | | |
| 当期利益 | 2,621,000 | | |

役員配置図



平成十五年七月一日現在

職員人事異動



青木 恭一 業務部長

解任(六月三十日付け)業務部長
石本登久(全農島根県本部に復帰)
新任(七月一日付け)業務部長
青木恭一(全農島根県本部より出向)

事業経過報告(6・18)

- 6・22 会員担当者会 (林業ビル)
- 6・25 中国地区需給調整会議 (林業ビル)
- 6・30 広島県生乳取引協議(林業ビル)
- 7・3 理事会 (林業ビル)
- 7・7 乳価取引委員会全体会議(東京)
- 7・15 指定団体中期目標検討会(東京)
- 7・21 広島県流通問題研修会 (広島市・鯉城会館)
- 7・23 会員担当者会・中国地区需給調整会議(林業ビル)
- 7・25 第二回通常総会(八丁堀シャンテ)
- 7・31 中酪評議委員会 (東京)

編集後記

先日、某乳業メーカーより阪神タイガース牛乳を贈っていただいた。黄色に黒色の縦縞にタイガースのロゴマークの500mlパックで、関西地区夏季限定販売だそうです。タイガースグッズの販売が好調のようですが、牛乳の消費もそう願いたいものです。さて、来年もこの牛乳が販売されることになるでしょうか？